

# みつぐ苑だより

2011 新春号

発行：平成23年1月  
発行元：介護老人保健施設 みつぐ苑

共に支え  
共に生きる



私たちは地域社会の一員として  
ご利用者とご家族の傍で尊厳  
を守り、自立支援・在宅支援を  
誠心誠意行います。



## 新年のご挨拶 ～新しい年を迎えて～



理事長  
津野田 誠

新年おめでとうございます。今年も皆様の新しい年が、素晴らしい充実した一年となりますようお祈り申し上げます。

干支にちなみ今年も和やかな年となりますようにと願いながら、気持ちも新たにスタート致したいと思えます。

更に、ここに到りみつぐ苑も揺籃の時期を脱し、明日に向けて新しい期待と意欲に満ちた躍進の一步を新しい年の初めに踏み出したいと思えます。

どうかみつぐ苑の更なる躍進の原動力となる皆様の御支援を頂きますよう、お願い申し上げます。



施設長  
津野田 尚子

年頭にあたり、ご挨拶を申し上げます。皆様におかれましては、其々の想いの初春をお迎えのことと存じます。

私自身はみつぐ苑で八回目の新春となります。また、昨年からは施設長の職責も担う事となりました。

しかし、責任の重い職務にありながら、不思議に年を重ねる毎にやり甲斐と楽しさが増してきております。これもひとえに、日々、支えてくださる多くの地域の皆様や職員のおかげと感謝致しております。

今年は更に40代への節目となる年明けとなりました。これからも、地域の皆様のニーズに細やかにお応えできる身近な施設として、日々「今できる事から」成長できるよう、今年も職員と共に真摯に励んで参りたいと存じます。

本年も何卒宜しくお願い申し上げます。



◀ご利用者の皆様と共に

明けまして  
おめでとうございます



## クリスマス会

みつぐ苑のクリスマス会が昨年12月24日(金)に行われました。

ボランティアの峯様によるオカリナ演奏、コール・ソレイユ様によるコーラスもあり、クリスマス会の雰囲気盛り上げていただきました。

理事長扮するサンタクロー



スの登場には、ご利用者の皆様の生き生きとした表情も見られて楽しい会となりました。皆様のご協力ありがとうございました。

今年も笑顔が多くみられる良い年になることを職員一同願っております。



## 餅つき



昨年12月28日(火)は恒例行事の一つ「餅つき」が行われました。今回は40kgのもち米を用意し、当日は朝から昼近くまで、地域の方々をはじめボランティアの皆様にご参加いただき、職員も総出の餅つきとなりました。年末のお忙し中、皆様にご協力いただきありがとうございました。

当日は餅の丸め手や、職員と一緒に餅をつかれるご利用者

様もいらっしゃいました。

途中、風雨に見舞われましたが、最後は地域の代表として緒方龍起様の三本締めで無事終了いたしました。

「夏まつり」同様、この「餅つき」も地域の方々やボランティアの皆様との交流の場として、また、年末恒例の行事として成長・定着していけるよう職員一丸となって努力してまいります。

## ボランティア活動紹介

ボランティアの皆様のおかげで年間の行事が充実したものになってきています。

今までの活動状況を振り返ると毎日どなたかが苑に足を運んでくださっている状況が見えてまいりました。心から感謝申し上げます。

創立記念日には5年間継続して活動されている方へ感謝の意を表し、理事長より「感謝状」をお渡しする予定です。

ボランティア活動に興味ある方はみつぐ苑の受付へぜひご相談ください。まずは始めてみませんか？いつでも、どんなことでも…ご連絡お待ちしております。

今年もボランティアの皆様と共に、イベント活動や様々な行事ごとなど更にパワーアップしていきたい②と思います。

### 祝 ボランティア活動200回!!

各地でボランティア活動をされている筑前琵琶演奏の小島旭真様が、記念すべき活動200回目を12/16当苑で迎えられました。

これからも素晴らしい演奏が、保存活動を通し皆様へ広がるよう願っております。



餅つきでお世話になったボランティア様

\*平成22年11月15日～平成23年1月15日までに活動いただいたボランティア様

- 音楽療育・小林真寿子様・立山真由美様  
・平成音楽大学学生様
- 化粧療法・ポー化粧品様
- 踊り・ラプリー大塚様・和の会様
- そば打ち・倉橋 正義様
- 音楽会・熊本学園大学 吹奏学部&合唱部様
- 園芸ボランティア  
・丸尾 英子様
- 小島 旭真様(筑前琵琶)
- 学生ボランティア  
＜熊本保健科学大学＞  
・福山 慧様・中川 聖様  
・田中 絵里様・上村 美紀様  
・下村 枝里様・竹口 佳那様  
＜九州ルーテル学院大学＞  
・畑野 朱美様
- コール・ソレイユ様(コーラス)
- 折り紙教室・三浦 順子様
- さつき倶楽部様(ハーモニカ)
- 書道教室・大堂喜三子様
- 浜江 孝夫様(ハーモニカ)
- 行事ボランティア
- 日本念佛おどりの会様(歌と踊り)
- 絳方 龍起様・川口 三郎様・木下瑠理子様・木村 ノブ子様・國本アイ子様・桑本 行雄様
- 峯 日出夫様(オカリナ)
- 境 正様・坂田 照子様・坂田美千代様・玉井 清人様・中村 栄喜様・那須 優子様
- 齊藤 文吉様(歌)
- 西岡 謙護様・橋野 晃様・濱奇 秀和様・平井 直樹様・宮崎也寸志様・森 陽一朗様



なおこDr.の

# クローバー通信

～診療所ダイアリー～

Vol.13



## 「尊厳死」 推進と反対の意見

診療所院長  
津野田 尚子

今回は、最期の時をいかに自分らしく生き、自然な形で死を迎えるかという思想の普及に努める『日本尊厳死協会』の活動を簡単にご紹介しました。協会活動として、自己決定権に基づく本人の意志の尊重と医師の免責保障を求め、尊厳死の法制化にも取り組んでおられます。

一方、「医療の進歩により、終末期の激痛緩和・除去が進み、蔓延性意識障害（重度の昏睡状態）者の回復例が多く報告されていること、命ある限り精一杯生き抜くことが人間の本質である」という立場から、『安楽死・尊厳死法制化を阻止する会』があり、尊厳死は病に苦しむ人や高齢者、生命維持装置をつけ精一杯生きている方々に「死の選択を迫る」圧力になりかねないと反対の活

動をされています。その他にも尊厳死を懸念するいくつかの団体（『人工呼吸器をつけた子の親の会』など）もあります。

尊厳死については、賛成と反対のどちらの意見にも頷けるため、自分がどの位置に立つかはすぐには決め切れず、悩むところです。もっと勉強し、熟慮していく必要性を感じた次第です。

賛成か、反対か…皆様はどう考えられますか？いろいろな会の活動などをホームページやパンフレットなどをご覧になり、ご意見をいただければ幸いです。

次回からは、皆様の意見をご紹介しますと思います。

（寄稿 地域支援室 本多）

Vol.13

**ザ  
修研**

**11月** 日頃の業務について研究を重ね、その成果を発表する「苑内研究発表会」を3日間にわたり行いました。計23題の発表があり、

年々演題数も増え内容も充実してきています。参加者も平均約50名と多く、質疑応答も積極的になされました。

**12月** 熊本市中央消防署 北部出張所より3名の職員の方をお迎えして、各部署の職員で連携しての119番への通報方法、心臓マッサージやAED（自動体外式除細動器）を使用するの救急蘇生法など、直接ご指導いただきました。

看・介護の質の向上、またより良い施設環境を目指し、職員一同これからも向上心を持って取り組んでいきたいと思ひます。

### 11月 苑内研究発表会



### 12月 救急蘇生法



## 防火訓練



昨年11月には夜間想定自主防火訓練など、昨年も苑内において様々な想定・場所の防火訓練を行ってまいりました。

今後の予定として2月は2階、3月は3階において、夜間想定防火訓練を行うことにしております。なお、3月につきましては消防署の指導のもと訓練を行う予定です。

80名のご利用者様が安心して過ごされるためにも、消防の設備点検や訓練はこれからも欠かせない重要なことと考えます。今後とも安心安全な施設として、職員全員で取り組んでまいります。



訓練の様子



# 外部報告 ～ 苑外での活動をご報告いたします ～

## 第21回 全国老人保健施設大会（岡山）＜平成22年11月10日（水）～12日（金）＞

岡山で「老人力と老健力 高齢社会のパートナーシップく人と人、力と力、無限の可能性を信じて」をメインテーマに11月10日～12日までの3日間、質の向上を目指して、全国から5,551名の参加のもと開かれました。多種多様な講演や催しがあり、熱気に包まれた大会となり、みつぐ苑からも3名が参加し、それぞれ発表してまいりました。

発表に関しては会場からの質問もいただき、また、他の参加者との交流もでき、達成感を味わうことができました。

今後も全国の仲間と切磋琢磨し、必要とされる施設づくりに励んでまいります。

～ みつぐ苑 発表演題 ～

- ◆「オリジナルの人事考課制度に取り組んで」 泉 良子
- ◆「リスク管理要項を作成して」 本多 光浩
- ◆「栄養プロジェクト食事向上への挑戦」 久富 江子



## 認知症サポーター養成講座 ＜計3日間・2ヶ所＞ 津野田 裕子・本多 光浩



▲ 熊本保健科学大学にて

- 11/17（水）・19（金）熊本市北部総合支所にて約25名ずつご参加
- 12/7（火）熊本保健科学大学にて約130名ご参加

認知症を理解し、認知症の方やその家族を暖かく見守る「認知症サポーター」の養成講座で、映像や事例なども交えながらお話をしてきました。

北部総合支所では、初めてお話しせていただいたこともあり、どれた

け伝わったかは不安でしたが、後から「分かりやすかった」とのお言葉もいただき、ほっとしました。

多くの方が認知症サポーターとなり、認知症になっても、安心して暮らせる地域になるよう今後もお伝えしていきたいと思いをします。

## OPEN SPACE インタビュー

今回は 西里校区 21町内 自治会長 岡嶋 幸男 様



にお話を伺いました。

みつぐ苑は地域清掃や町内総会などに参加させて頂いていますが、お役に立っていますでしょうか？

職員の方々とボランティアを通して交流出来ることにとっても感謝しています。

みつぐ苑に今後期待されること、ご要望などお聞かせ願います。

今後も広報紙でのイベント紹介や、医療の面から健康意識の向上・健康増進への取り組みをサポートして頂くよう、支持・期待します。

— ご協力ありがとうございました —

## 編集後記

明けましておめでとうございます。本年も地域の皆様とご家族様のお役に立てるような内容の広報紙を目指し努めてまいります。皆様の変わらぬご意見とご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

### ■ 関連事業所 ■

- 通所リハビリテーションみつぐ苑
- グループホーム 茜
- 認知症対応型通所介護みつぐ苑
- みつぐまち診療所
- 居宅介護支援事業所みつぐ苑
- 津野田内科 医院
- 訪問リハビリテーションみつぐ苑



医療法人 医誠会  
介護老人保健施設

みつぐ苑

〒861-5535 熊本市真町135番地 ☎096-323-6123

熊本田原坂線 崇城大学から車で約3分 <http://www.iseikai.info/>